

## 『八丈島と熊野』

～遭難の歴史と、黒潮がむすぶ物語～

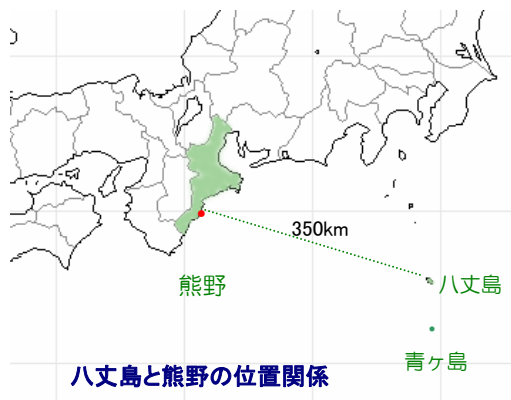
海は、いにしへの時代から、私たちの生活に大きな恵みを与えてくれています。それと同時に、ひとたび嵐や津波が起きれば多くの生命が海に消えました。

熊野周辺でも、多くの遭難の歴史があります。江戸時代中期から幕末にかけて、強風や高波、強い季節風などにあおられて難破し、この地方に漂着した船は、文献に残らないものを含めると400隻を超えと言われる、100人以上の命が失われました。

これらの歴史の中で、八丈島を出発した船が遭難し、寛政9年(1797年)に熊野市二木島町へ、寛政11年(1799年)に須野町へ漂着した記録があります。この2隻の船は、八丈島の南方約60kmに浮かぶ青ヶ島を目指していましたが、台風の強風と黒潮に流され、遙か350km離れた熊野に流れ着きました。この遠い距離を、速いときには時速7kmに達するという黒潮に乗り、わずかの日数で流れてきたと言われています。



遭難者名が記された旅船過去帳  
(二木島町 最明寺蔵)



八丈島と熊野の位置関係



熊野市須野町の海岸

八丈島と熊野。その距離や生活圏の違いから、ふだんの暮らしでは関わりが少ないと考えられる方がほとんどだと思います。しかし、日本沿岸を流れる黒潮が、知られざる遭難の歴史や思いがけない双方のつながりを教えてくれます。

ご案内は、作家や熊野市文化財専門委員として活躍し、郷土の歴史を探求しておられる中田重顕さんです。今から200年以上も前に黒潮に乗って熊野に流れ着き、故郷への帰還を待ち望んだ八丈の民と、それを果たせず異郷の地で命を落とした男性の悲哀など、今に伝わる熊野の海難の歴史を学びます。ご参加をお待ちしております。

## 実施要領

### ■日時

平成**20**年**11**月**15**日（土）雨天決行  
（荒天の場合は平成20年11月22日（土）に延期）

### ■集合

熊野市甫母町 楯ヶ崎駐車場（山側のトイレのある駐車場です）

### ■場所

熊野市須野町（永命寺墓地）及び熊野市二木島町（最明寺）

### ■行程

- 9：30 集合、ミーティング後現地へ移動
- 9：45 須野町着、永命寺墓地にて中田さんの解説と見学
- 10：30 二木島町着、最明寺にて中田さんの解説と見学  
（榘本住職がお寺の由来をお話しくださいます）
- 11：40 熊野市歴史民俗資料館を見学
- 12：00 ミーティング後、解散  
（多少時間が前後することがあります。ご了解下さい。）

### ■募集人数

7名様（お申し込み多数の場合は、10月21日（火）に抽選で決めさせていただきます。お二人以上で一緒に参加ご希望の場合は、グループで一人として抽選します。）

### ■お申込締め切り

10月**20**日（月）必着

### ■参加費

1,700円

【ガイド料、国内旅行・賠償保険代、実施経費の一部(現地調査費、通信費等)】

### ■持ち物

履き慣れた靴、飲みものなど

### ■ご案内

中田重顕氏（熊野市久生屋町）

### ■ご注意

この企画は紀南ツアーデザインセンターが地域づくりのために作成した学習プログラムに、希望者が自己責任において任意で参加していただくものです。万一の怪我や事故などに対する補償は、加入する国内旅行保険の範囲内で行いますので、ご了解の上ご参加ください。

### ◇お申込み方法（[参加申込書はこちら⇒](#)）

郵便、ファックスまたはEメールでお申込みください。

ご参加をお待ちしています。